

新体制のスタート

8月28日に執行された市長選挙で田中明氏が当選され、同日に執行された市議会議員補欠選挙で水野千恵子氏、片野晶子氏が当選されました。

定例会初日の9月2日の本会議では、國島芳明市長の退任の挨拶があり、水門議長が3期12年間にわたる市政発展への尽力に対し、お礼の言葉を述べました。

9月6日の本会議では、田中明新市長が、これからの市政運営に当たっての所信を述べられました。また、水野千恵子議員が総務環境委員会、片野晶子議員が産業建設委員会に所属することを決定しました。

そして、定例会最終日の9月30日の本会議では、副市長を2名体制とする議案を可決しました。



田中明新市長



國島芳明前市長



水野千恵子議員



片野晶子議員

令和3年度決算を審査

コロナ対応や除雪対応などに総額113億円余の補正予算
ふるさと納税22億円の収入

令和3年度の一般会計の歳入は591億円、歳出は539億円で、約53億円の黒字決算となり、実質収支は28億円となりました。新型コロナウイルス感染症対策や除雪対策等への対応のため、19回にわたり補正予算が編成され、当初予算より113億円が増額されましたが、国県の補助金等やふるさと納税の大幅な増収により、黒字決算となりました。

各常任委員会において新型コロナウイルス感染症が事業に与えた影響や予算と決算の連動など所管委員会としての共通の視点から論点整理を行い決算審査に臨みました。審査の結果、認第1号令和3年度一般会計歳入歳出決算及び認第5号介護保険事業特別会計歳入歳出決算は起立多数で、残りの認定案件7件は全員一致で認定すべきものと決しました。